



こまえをこまげる

こまごなNEWS

VOL.34
2020年2月号

発行: 責任編集
狛江市岩戸北
3-18-8-701
狛江で分かりやすい
政治を伝える会



質問 左右の写真で、
違いは何でしょうか？

狛江駅北口から泉龍寺方面参道を望む。
左は1月27日、右は2月3日に撮影。

ご回答 プランターが なくなりました。

先月末まではプランターに植栽された観葉植物が二つありました。これは、障がい者送迎用の駐車スペースがこの場所に設置された際にクルマ止めとして置かれていたものです。
観葉植物が街の景色に彩りを与える：：、一見、良い話を



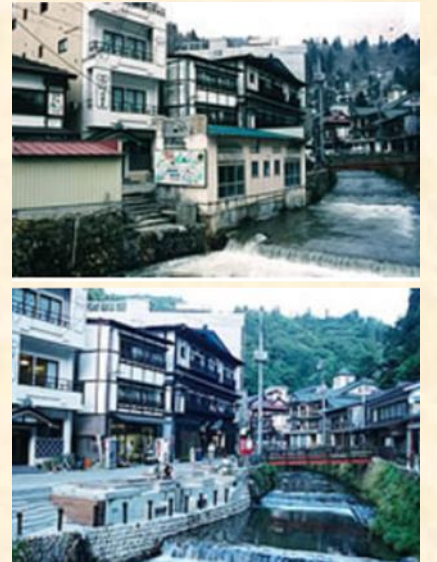
に聞こえるかもしれませんが、果たして狛江市の売り物って何でしょうか？

私は狛江駅北口駅前の緑地保全地区や泉龍寺境内を臨む**景観を最大限に活かしていくようデザイン**された緑豊かな空間こそが、

狛江の宝物だと思います。駅を降りてすぐに、これだけの緑が広がっている街ってそうそうありません。狛江駅を降り立った時に、街の魅力である圧倒的な緑でおもてなしするようないメージのデザインが必要だと思います。都内屈指の名刹・泉龍寺の境内へ続く参道の風景。狛江に初めて訪れた方はさぞやびつくりされることでしょう。私は市にお願いして、参道への視界を遮（さえぎ）るプランターの移動をお願いしました。それが今回の経緯です。

景観のデザインが街の魅力に。

山形県の銀山温泉は昔からあった街並みにちよつとしたデザインを施して、成功した観光地と言われています。



右の写真は同じ場所から撮影されたものです。上下で比べてみて下さい。上の写真、左下にある共同浴場の場所が圧迫感を感じます。下の写真では、浴場の姿はなくなり、その場所が楽しそうに人が集う光景が広がります。一番大切なことは「人が行ってみたい、楽しい時間を過ごしてみたい。」と思っただけで済ませよう。街の雰囲気作りだとお思います。つまり、人間を大事にしているように映ること、人をもてなすホスピタリティを持った景観デザインのこと。これが街の魅力になつていく：：、

こまえもカッコいい街に。

私は狛江駅北口のリノベーション計画を進めています。決して、豊かな緑を台無しにはありません。あくまでも、駅周辺の緑が引き立つよう「街の景観を整えていく」という表現が正解かもしれません。そのためには、住民の皆さんの合意形成が何よりも大切だと思っております。ちよつとしたデザインの子カラで街をカッコよくしていきたい。街を注目くださいますようお願い申し上げます。



三宅まことの90秒動画「狛江駅北口をカッコよくしたい」YouTubeで公開中です。ぜひ、チェックしてみてください。